

第1回 海津市総合計画審議会 議事要旨

日 時：令和3年6月24日（木）10：00～

場 所：海津市役所 東館4階 災害対策本部室

1. 市長あいさつ

合併以来16年間において人口減少速度が著しく速く、その最大の要因は若者の市外への流出とそれによる少子化となっている。

今後、子育て世代に対する支援を強化し若者に選ばれるまちにしていきたいと考えている。子育て世代に選ばれるまちづくりは、他の世代にとっても住みよいまちに繋がっていくと考える。市民の誰もが生き生きと自分らしく暮らせる海津市の実現を目指して、選ばれるまちづくりを進めていく。

また、人口減少対策を進める上で、地域経済の活性化、雇用の創出が最も重要である。令和8年度に予定されている東海環状自動車道西回りルート全線開通を見据え、企業や集客施設などの経済誘致活動の積極的な展開とともに、市内の観光資源、地域資源を徹底的に磨き上げ、本市の魅力を広く外に発信し、地域経済の活性につなげていきたい。

人口減少に歯止めをかけるとともに、海津市に新しい風を吹き込み、賑わいと活力を取り戻すことが市政の方向性である。

本市では、平成28年度に海津市第2次総合計画を策定し、豊かな自然環境の中で安心して働き、次世代を担う子どもたちを安心して育てることができるまちづくり、そして、全ての市民が手を取り合い暮らせるまちづくりを目指して、この5年間各種施策に取り組んできた。後期基本計画は、本市の現状や課題、国と県の動向に加え、市民のニーズをしつかりと踏まえて策定をしていきたい。

委員の皆様から様々なご意見を頂戴して、それらを計画に盛り込んでいきたいと考えている。忌憚のないご意見をお願いしたい。

2. 委員紹介及び委嘱状交付

3. 海津市総合計画策定条例、審議会条例について

事務局より資料2について説明。

4. 会長・副会長の選任について

会長に海津市自治連合会会長の伊藤義美委員、副会長に海津市教育委員会教育委員の伊藤亮一委員が選任された。

5. 海津市第2次総合計画の諮問について

市長より会長へ、海津市第2次総合計画の策定について諮問書を手渡した。

6. 議事

(1) 海津市第2次総合計画後期基本計画の策定について

事務局より資料3・資料4・資料5について説明。

質疑応答は以下のとおり。

委員：19ページのアンケートの選択肢が設問によってやや異なっている。

重要度と満足度の設問である程度統一した方がいい。聞き方によって回答が影響を受けるのではないかと思う。今回は、すでに行われているため、参考にしてほしい。

委員：高齢化が進んでいる中で高齢者の多い偏ったアンケートになっているのだろうか。求めている層と違う層の結果だと良くないかと思う。

事務局：高校生の意見やアンケートで聞けなかった部分についてワークショップを通して子育て世代に聞くなどを考えている。

委員：若い世代からアンケートは回収できているのか。無作為抽出の仕方はどうなっているのか。

事務局：均等にバランスよく抽出している。アンケートのやり方を変更していくことを今後検討する。

委員：性別はどうか。

事務局：性別については半分で実施している。

(2) 総論（案）について

事務局より資料6について説明。

質疑応答は以下のとおり。

委員：素案は第2章の海津市の姿までしかないが、課題の整理はこれからで、その後第3章が追加されるという形で良いか。

事務局：課題については施策ごとに整理を行っていくので、そちらの方でご確認いただきたい。

委員：つながりをつくるための施策や工夫があるとよい。また、超スマート社会を見据えたような先取りした施策もお願いしたい。

事務局：計画の策定の課題として認識している。

委員：心と命の教育についても取り組んでほしい。学校教育だけに任せるのではなく、家庭教育に盛り込んでほしい。育てるのは子どもだけではなく、大人も高齢者も育てないといけない。生涯つながる形で考えることが必要だと思う。

委員：「自然があること」、「田畑があること」は重要度としては下がってしまった。自然環境をうまく活用できるといいと思う。

心と命の教育に豊かな自然は有意義なのではないかと思う。

(閉会)